

現 状

- ☞ 日本語指導が必要な児童生徒数 **138名** (R5.5現在)
- ☞ 県内各地に散在している

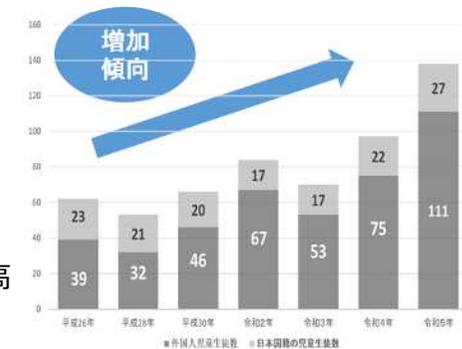
	中津市	別府市	大分市	その他	合計
小学校	11	41	27	16	95
中学校	2	9	6	11	28
高等学校	0	7	2	6	15
合計	13	57	35	33	138

※うち中学校3年生は8名

課 題

- ☑ 新型コロナの5類移行による国内外の移動が活発になり、日本語指導が必要な児童生徒は1年間で約1.5倍増加 (**R4 : 97名 → R5 : 138名**)
- ☑ 学校の指導・支援体制の確立及び更なる支援員の人材育成が急務
- ☑ 生徒の母語の多言語化(R5 : 9カ国語)が進み、高等学校における生活指導・進路指導を円滑に行うことが困難

大分県の日本語指導が必要な児童生徒数



取組方針

帰国・外国人児童生徒等が、県内のどこにいても同じように日本語指導を受けられるよう、支援を継続する

事業内容

① 児童生徒一人ひとりの能力にあった日本語指導の実施

▶ 日本語指導支援員の派遣 (国庫1/3) 【拡充】

日本語指導が必要な児童生徒が在籍する小・中・高等学校に日本語指導支援員を派遣し、個々の日本語能力に応じた指導を行う
 ※市町村立学校には県より補助金を交付し、市町村より派遣 (負担割合 ⇒ 国 : 県 : 市 = 1/3 : 1/3 : 1/3)

▶ 高等学校等に対する包括的な支援

- ・「高等学校日本語指導者担当者連絡協議会」を実施し、高等学校で日本語指導に携わる教職員への情報提供・交換の場とする
- ・「県内帰国・外国人生徒等交流会」を開催し、高校生等に対する学習や進路、生活についての相談・支援の場を設定する
- ・**入学者説明会や個人面談の際に「母語支援員」を派遣し、円滑なコミュニケーションを支援する (国庫1/3) 【新規】**

② 日本語指導アドバイザーの派遣

- ・市町村立学校・県立学校の要望に応じて派遣し、児童生徒の日本語能力チェックや初期指導、指導カリキュラムの作成、指導法への助言等を行う
- ・**県内の各地域に速やかに派遣ができるようにアドバイザーを増員する (R5:2名 ⇒ R6:4名) 【拡充】**

③ 日本語指導者の養成

- ・「日本語指導者養成・スキルアップ研修」を実施し、受入れに係る初期指導や日本語指導力の向上を図るとともに、指導者数を増やす
- ・「日本語指導支援員研修」を実施し、日本語指導に関わる支援員相互の情報交換を行い、指導力の向上を図る